

SDGsを目指す農林水産業の未来のために

近畿大学アグリ技術革新研究所 第15回オープンセミナー

2021年7月30日（金）

15:30～17:00

Online開催（Zoom）

近畿大学教職員・学生・研究員聴講可

入場無料
申込不要
来聴歓迎

講師 | 高木 和広 氏

国立研究開発法人 農研機構
農業環境研究部門

バイオレメディエーション研究の歩み -化学分析技術革新による今後の展開-

当研究室ではPOPs(残留性有機汚染物質)汚染土壌浄化のためにバイオレメディエーション技術の開発を行ってきました。POPsを分解する細菌を土壌・木炭還流法を用いて数多く単離しました。幾つかの分解菌は土壌環境中で汚染対象を完全に分解・無機化、無毒化する事が知られています。しかし、未だ多くの分解菌における分解代謝経路、環境中の薬物動態は明らかになっていません。これら代謝物の構造決定や毒性評価なしには真のバイレメ技術と言えないのが現状です。近年、「結晶スポンジ法」が注目され始めています。微量な未知化学物質(μg 量)で単結晶X線化学構造解析する技術ですが、当研究室でもこの技術を用いての良好な結果が得られています。今後10年で環境動態、バイレメ研究は目覚ましい発展を遂げる分野の1つになると確信しております。本セミナーにご参加いただき、将来の研究領域選びにお役立て下さい。

世話人 | 松田 一彦 (近畿大学アグリ技術革新研究所 教授)
お問い合わせ | kmatsuda@nara.kindai.ac.jp